



コープフェスタ2026

あつまれ「かんまちあ」
みんなでGOGOコープへ行こう

入場
無料

生協コープかごしま 55周年記念

おかげさまで55年。生産者さんとみんなの笑顔が集まるお祭り!

11.29日 10:00 ~ 15:00

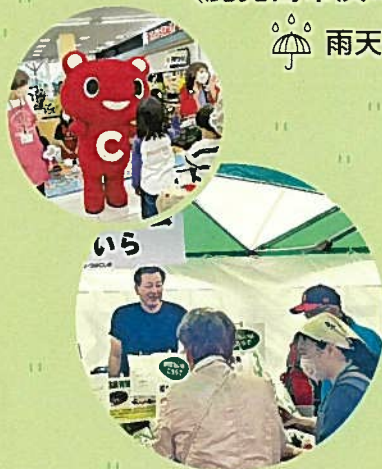
場所 鹿児島市 かんまちあ

(鹿児島市浜町2-20・鹿児島駅から徒歩1分)

雨天決行 荒天中止



この
のぼりが
目印!



今年もたくさんのイベントや
ブース販売も予定しています!
今後の情報もぜひ
お楽しみにお待ちください!



組合員でなくても大歓迎! ぜひお越しください

お問い合わせ先

生協コープかごしま コープフェスタ実行委員会

TEL 099-286-1101(商品事業本部内) 月～金 9時～17時

地球にやさしいくらしは 家計にもやさしい



エコバッグ
マイボトル



お気に入りの
持ち歩けば
ごみを
減らせる！

今できること、
身近な一歩を踏み出そう



CO2
削減

エアコンの設定温度を
上げ過ぎない
電気をこまめに消す



地球にも
家計にもやさしい
節約をしよう！



フードロス

食べ残し



ムダを無くして
食費の
節約に！

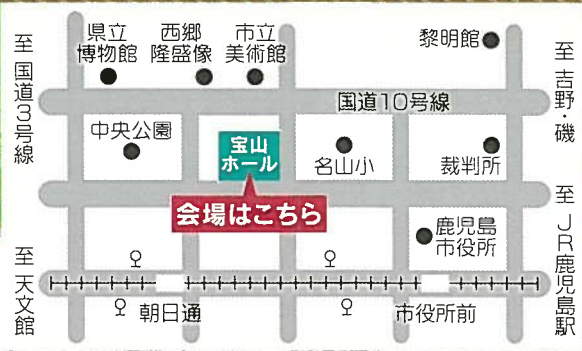
参加費 無料

講師 きした 慎 吾 さん

～プロフィール～
環境カウンセラー
NPO法人エコサポートTGAL 理事
KES環境マネジメントシステム審査員

値上げが続く家計のやりくりが大変です。国や自治体に対策を求めることも大切です。そして毎日のくらしのなかで、無駄を見直せば電気代や食費をぐっと減らせます。環境にやさしいくらし方を学び、実践するヒントをお話しいたします。

2026 12月10日 木
10:30～12:30



* 最寄りの市電「朝日通」・バス停「金生町・市役所前」
* 駐車場は近隣のコインパーキングをご利用ください。

会場 宝山ホール(鹿児島県文化センター)
2階第3会議室 (鹿児島市山下町5-3)

参加方法 会場参加(定員 100人)
オンライン参加(定員 100人)

※通信費はご負担ください～Wifi環境を推奨します

- 右記二次元コードまたはお電話でお申し込みください。
- 会場参加のお申し込みは、先着順とさせていただきます。



申込締切
2026年11月30日(月)

※オンライン参加の方は、参加URL、資料(データ)は、前日までにお送りします。

主催
鹿児島県消費者団体連絡会

構成団体: 鹿児島大学生協、鹿児島医療生協、グリーンコープかごしま生協、
新日本婦人の会鹿児島県本部、生協コープかごしま、
福祉生活協同組合むぎのめ、鹿児島県生活協同組合連合会

お問い合わせ・お申し込み

生活協同組合コープかごしま

電話 099-286-1115

平和憲法を守りましょう

2026年10月～11月
署名にご協力ください



Q1 いま日本の防衛はどのようになっているのですか。

A 日本は近年、防衛費の増額をしています。いわゆる「安保3文書」(2022年に閣議決定した日本の防衛政策における3つの文書「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」)によって、敵基地攻撃ができるミサイルやイージス艦などの装備や、武器・弾薬の備蓄を増やし、基地を増強しているというのが実態です。

Q2 戦争にしないためには「抑止力」が必要なのは。

A 「攻められなければ攻めてくるな」の「抑止力」の考え方は、戦争を起こさせないための考え方ですが、それでは相手の疑心暗鬼を生み、軍備の拡張になってしまいます。まずは外交で戦争を確実に遠ざけることが必要ではないでしょうか。

Q3 憲法9条に自衛隊を明記すればいいのでは。

A 明記すると、自衛隊が憲法上の正式な軍事組織となり、活動の範囲を広く解釈する方向に進みやすくなるとの指摘があります。海外での武力行使や同盟国との共同作戦など、これまで慎重に扱われてきたことが「合憲」とされやすくなる懸念があり、明記は安心よりも「歯止め弱まり」につながる可能性が問題とされています。

平和の象徴である憲法9条をまもりましょう

— 憲法9条の改憲に反対する請願署名 —

私たち生活協同組合コープかごしまは、1971年の創立以来、「よりよき生活と平和のために」のスローガンを掲げ、鹿児島県内で購買事業を展開してまいりました。同時に憲法や平和の大切さを地域に広げる活動にも力を注いできました。毎年5月3日には、地域のみなさんとともに実行委員会を組織し、「憲法記念日市民のつどい」を開催しています。

この取り組みを通じて、憲法の理念を広く共有し、平和の尊さを次世代へ伝える活動を続けています。生協コープかごしまは、その一環として本署名活動に取り組みます。

日本は、先の戦争で深い傷を負うと同時に、アジアの人々にも大きな苦しみを与えました。「被害者であり加害者でもある」この歴史への反省から、戦争を放棄し、武力によらない平和を追求する憲法9条が生まれました。これは、恒久平和を選んだ日本の決意です。

唯一の戦争被爆国として、平和を守り、紛争を未然に防ぐ努力を続けることは、世界に対する日本の責任であり誇りです。憲法9条は、対立をおおるのではなく、対話と外交を重んじる姿勢を示し、長く日本の平和を支えてきました。

私たちは、未来の世代に平和な社会を手渡すため、武力ではなく対話を基礎とする「平和憲法」を守り続けることを強く求めます。

■ 請願事項

1.戦争で国際紛争を解決しないと定めた憲法9条の改憲を行わないこと

氏 名	住 所
	鹿児島県
	鹿児島県
	鹿児島県
	鹿児島県
	鹿児島県

※いただいた署名は宛名への請願・要請以外には用いません。氏名、住所は番地まで省略せずに、一人ひとり明記ください。
「同上」「々」、鉛筆使用は無効です。

